

令和6年12月期月次景況調査結果

この調査結果は、地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

総じて増加傾向にあった売上高が、受注量の減少や物価高により減少したとする業種が多く、一方で、原材料・エネルギー価格の高騰や人件費の上昇を転嫁しきれず、収益が改善していないことから、景況DI値は若干悪化した。

また、多くの業種で、深刻な人手不足への対応に苦慮しており、稼働日数の減少、受注・販売機会の喪失や納期遅れなどが生じるなど、事業活動に制約を来す状況にある。

今後も、人手不足に対応するための人件費の上昇や、ガソリン価格の値上げなど物価高騰による収益悪化が続くことを懸念し、事業経営を不安視する報告が多く寄せられている。

山口県の主要指標 DI 値（令和6年12月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。


業界の景況	(< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)
	前年同月比は、好転：7.5% 悪化：27.5% DI 値：▲21.2% ポイント
売上高	(< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)
	前年同月比は、増加：20.0% 減少：37.5% DI 値：▲17.5% ポイント
収益状況	(< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)
	前年同月比は、好転：10.0% 悪化：33.8% DI 値：▲25.0% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（令和6年12月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲25.0	33.3	▲100.0	▲50.0	▲50.0	12.5	▲33.3	▲21.8
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業
▲20.0	▲28.6	▲33.3	9.1	▲36.4	▲14.3	▲100.0	▲20.8
							

全 体
▲21.2


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	ショッピングセンターでは年末年始、売り切れの県内銘菓が多く見られた。一方、クリスマスケーキは厳しかった模様。公共交通機関や大手スーパーの土産菓子は堅調に動いている。	パン・菓子製造業
	水産資源の減少は深刻。水産加工業者と漁業者の廃業が続いており、人手不足と人件費の高騰が大変深刻である。地域の活力が失われてきている。	水産食料品製造業 長門市
	円安が少しずつ回復傾向だが、原料や水道光熱費の高騰、人件費(時給の最低賃金)の上がり幅が大きいため、商品の値上げが追い付かない状況。商品の単価設定を見直していかなくてはいけない。売上等は去年とさほど変わっていないと思うが、ギフト関係(ふるさと納税等)の動きは良かった模様。逆にお土産関係の商品は観光客(旅行等)があまり増えず、売上は下がっている模様。	水産食料品製造業 下関市
	秋の季節感を味わうことなく突然冬が来たような急激な温度変化に、客足が遠のくのではと心配したが、売上は好調をキープしている。年末が近づき、早めに正月用品の買い出しに出かけるためか、正月用餅の注文が好調。売上はコロナ前の水準に迫ってきている。出荷すれば売上増となることはわかっているが、組合員の健康を考えて、年末の臨時営業は断念した。利益よりも、細く長く営業していくことの方を優先させた結果である。	食料品製造業
	12月の売上については、全国的に慢性的な米不足が続く、農協の概算金大幅に上昇したことによる、売上高の増加が見込める状況となった。ただ、今までの肥料、農薬、燃料代などの上昇分を吸収できるくらいとなるため、利益率については、変更が無い。例年に比べ異常な高温の日が長く続いた影響で、お米の等級は昨年より低下した。長雨が続き、麦の播種作業が大幅に遅れるなど、地球温暖化が進行しているが、その対策については、目に見えて進めているような政策がほとんどなく、水素ステーションの構築、燃料電池の積極的な導入など、水素循環型社会の実現に向けた政策の加速化が強く求められている。また、日本の発電量に占める化石燃料の利用率約70%という数値も国際社会的にみても異常に高いので、早急に自然エネルギーの利用と原子力などによる発電に関するゼロカーボンの比率を70%にさせるなどの改善が必要である。ロシアがウクライナに侵攻して2年以上が経過したが、新たに北朝鮮軍がウクライナの戦線に加わるなど、戦局が更に拡大しそうな状況となっている。中東情勢の悪化に	精穀・製粉業

	<p>伴う世界情勢が混沌として、原油、天然ガス等の資源不足が懸念されている。国際的な原油価格が上昇し、それに伴って、肥料価格が前年比160%アップという驚異的な結果となっている。政府の、原油価格の上昇に伴う損失補填も限界にきているようだが、特にガソリン価格の対策費の継続と、食料安全保障対策を早急に図るなどの措置が必要となってくる。おって、北朝鮮、中国などの情勢を注視しながら、迅速に対応することが必要となる。山口県農林水産部は、輸出に向けたコミュニティを設立するなど、県をあげて輸出への対応を推進しているため、それに向けた対応も必要となる。</p>	
繊維工業	<p>生産数量は変わらないが、難度が高く単価の高いものを生産しているため、資材の値上がり分以上の収益が出ている。</p>	<p>外衣・シャツ製造業</p>
	<p>12月には、同業者の廃業で突然の発注が増加、仕様確認に時間を取られ、売上には繋がらなかった。</p>	<p>帆布製品製造業</p>
木材・木製品	<p>組合員の平均売上額は、令和5年12月と比べ30%の減少。建築工事の減少が続いている。バイオマス用チップの原材料が高騰しているが、売値に価格転嫁できていない。</p>	<p>製材業・木製品製造業</p>
印刷	<p>昨年あった大口の物件が無くなり、12月は受注、売上ともに大幅にダウンした。年明け当初は、順調に売上も伸びたが、夏場から急激に受注が減り、結果的には前年並みとなった。</p>	<p>印刷業 山口市</p>
	<p>印刷業界は、関連原材料の高騰が依然続いていることに加え、デジタル化によるペーパーレス社会の進行が印刷関連受注総額の減少を招いており、経営は非常に厳しい状況が続いている。この状況は今後も加速していくと思われ、Webコンテンツやこれまで経験のない新分野や他分野への進出やM&Aによる経営統合、事業分割等による住み分けや効率化はますます進行していくと思われる。</p>	<p>印刷業 下関市</p>
窯業・土石製品	<p>令和7年4月より、セメント価格が1トン当たり2,100円程度値上げすることが各メーカーから発表されている。また異形鉄筋の値上げについても耳にするようになり、運賃の値上げも続いている。先行き不安な状況が続くと感じている。</p>	<p>コンクリート製品製造業 柳井市</p>
	<p>ガソリン価格の上昇が今後の配送費、事業活動のコストUPに影響してくるため、対策を考えていく。</p>	<p>コンクリート製品製造業 防府市</p>
	<p>出荷量は、前月比92%、前年同月比84%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。一部の地区で値上げの動きがある。</p>	<p>生コンクリート製造業</p>

	<p>組合員の施工についてのクレームが組合へあった。よく聞いてみると、元請けが葬祭業で（葬祭業者へ墓石の建立を依頼した）、施工業者が組合員だったため、組合へ連絡したとの事。クレームについては、あくまで施工業者と顧客の間での話し合いで解決してほしい。また、元請けがいる場合にはそちらとの話し合いをしてもらいたいと回答対応した。</p>	石工品製造業
	<p>12月上旬までは観光客やお客様も入っていたが、クリスマスが過ぎると人の出入りはなくなった。窯元によっては年末年始も営業すると思われるが、観光客や帰省客の出入りの可能性もある。地元の方には改めて萩焼の良さを伝えるチャンスであり、観光客の方には新たに萩焼の良さを知ってもらうチャンスでもあるので、年末年始はしっかりと接客に努めたい。</p>	陶磁器・同関連製品製造業
一般機器	<p>12月は例年閑散期となる。人手不足が大きな原因にはなるが、繁忙期を外した工程で考慮し、12月に仕事を廻していただくお客様もあり、組合員皆それなりに売上がある模様。今年の正月休みは9連休で、12/27が仕事納めの企業が大半である。</p>	一般機械器具製造業 下松市
	<p>売上高に変動はなく、概ね想定を受注量・収益状況となっている。本年度は、昨年あった大型受注の予定が今のところなく、業況については予断を許さない状況である。引き続き人員確保での継続的な投資が必要であり、採用費が収益を圧迫している。人手不足で仕事量が消化できないため、省力化設備やデジタル化を進めているが直ぐに効果は出ない。</p>	一般機械器具製造業 防府市
	<p>各業種とも当面の事業量を確保し順調であるが、引き続き人材の確保に苦慮している。特に、介護、建設、食品加工については切迫している。正規、非正規、派遣を問わず日本人人材を確保することは困難を極めており、人材確保が出来ないことが事業運営に支障をきたしている。外国人人材確保の面でも、低賃金、円安の影響は大きく、特にベトナムでは一人あたりのGDPでも日本を抜いた高賃金の韓国への希望が高い。また、賃金は日本より低い、簡易な手続きで、規制も緩く、長期に滞在できる台湾の人気も高くなっている。引き続き日本が選ばれる国であることは厳しい。従って、賃金対応のみならず早急に多文化共生社会づくりへの対応による生活環境、文化環境、教育環境等の充実による日本の魅力づくりに取り組むとともに、定住策に対する国民のコンセンサスをどう進めるかが求められる。当面、受け入れ国の多様化で人材確保をすることで対応せざるを得ないが、今後は多数の若年人口を抱える、インドネシア、インドからの受け入れが多くなることが想定されるが、現状の賃金環境が継続するといずれは行き詰ることが想定されるため、最低賃金の抜本的な見直しに早急に取り組み、諸</p>	一般機械器具製造業 宇部市

	<p>外国に劣らないよう物価上昇に見合った高賃金体制にすることが急務である。また、日本国内での賃金格差の解消にも早急に対処する必要がある。</p> <p>長引く物価高騰の中、厳しい状況は続いている。2025年に期待する。</p> <p>前月同様状況は変わらない。ベトナムから2名の技能実習生が入国。座学が5日より開始された。21日に法的保護を実施した（工場板金職種）。</p>	<p>一般機械器具製造業 下関市</p>
輸送機器	<p>鉄道車両関係の受注量は2024年度下期以降減少となり、2025年4月からは大幅な受注減の見通し。2025年度11月頃から多少の受注見込みがあるが、本格的な稼働は2026年度からになる見通し。人件費や原材料費・電気料等の高騰により、収益悪化が続くものと思われる。半導体製造装置の部品製造業において、当初の予測よりも大幅に受注量が減少し低位に推移している。</p>	<p>鉄道車両・同部品製造業</p>
卸売業	<p>海苔の共販における高値が継続中であり、看板商品の海苔の入庫が大幅に減少しているのは厳しいが、他の商品が好調で売上は前年と同等、倉庫運営は好調とは言えないが安定している。</p>	<p>乾物卸売業</p>
	<p>漁港の水揚げは数量、金額とも前年並みであった。各種価格高騰の中、販売価格は上昇したが、収益がなかなか上向かず、業界全体の景況としては、前年よりも悪化している。下関漁港HPリニューアルに伴いHPを作成出来たので、組合・組合員のPRに努めたい。</p>	<p>生鮮・魚介卸売業</p>
	<p>大きく変わった点はないが、ガソリンの価格が高止まりしているため、その影響がある。</p>	<p>各種商品卸売業 防府市</p>
	<p>暖冬により冬物商品の動きが遅い。</p>	<p>各種商品卸売業 山口市</p>
小売業	<p>県内の化粧品専門店の売上状況は前年に比べて増加の様相。特に高額クリームや美容液が好調でコロナ禍以前の状態に戻ってきているお店もあるが、メーカーでは簡略化が進み、セミナー等リモートで行われ、売上に応じてセールスや美容部員が派遣されないお店も増えていく傾向で、テスター等も有料化され、専門店も大変な状況になってきている。組合もそのあたりをケアできるようメーカーと話をしているが難しく、化粧品業界も新規参入メーカーが増え、売上も厳しい状況である。山口県粧協も組合員をケアできるよう頑張らないといけない。</p>	<p>化粧品小売業</p>
	<p>12月の売上状況は前年同月比7.2%減少。人手不足により月1日の店休日を設けたことで、営業日が1日減少していることと、来場客数の減少が主な要因である。10月に2店舗が新規開店したことにより、売場スペースはしっかりと確保できるようになったが、新店舗もまだ売上が落ち着いておらず、対前年比では依然として低調な進捗状況である。</p>	<p>各種商品小売業 萩市</p>

	12月の供給高は前年比101.6%、来店者数97.1%。引き続き、猛暑と台風の影響で、青果の入荷が不安定となっている。1年で一番忙しい月、商品の値上がりが続いており、供給高も上がっている。	各種商品小売業 下関市
商店街	年末、飲食業界は忘年会が盛んになり、景気も好転する。一方で、原材料費、資材、人件費、流通コストは著しく増加し、営業経費が急増、粗利を圧迫している。年末年始の売上げ増加の波が止まる2月が恐ろしい。また12月は商店街周辺に新店舗（6店すべて飲食店）の開業ラッシュが続いた。古参の大型店が撤退するなど、駅隣接の再開発が鍵を握っている。	岩国市
	毎年恒例のツリー祭りも、多くのお客様で賑わい大盛況だった。歳末えびす大感謝祭も補助金のお陰もありガラポン抽選会等で大いに賑わった。この商品券をもって商店街に足を運んでくださると期待したい。銀座通りのイルミネーションも工夫して拡大したいと思う。	周南市
	青果業に関しては、異常気象による不作のため、野菜・果物が品不足となっている。高値により売上は増加したが、利益に繋がらず、逆に利益率が大幅に悪化している。商店街では後継者がおらず閉店になる店舗が出始めている。	山口市
	物価高騰が影響しているためか、年末にもかかわらず、人出が少ない。	宇部市
	小規模事業者応援キャンペーン補助金により、プレミアム商品券の販売実施をしたことで歳末商戦の呼び水となったが、物価の高騰により売上単価、販売数量が伸びなかった。	萩市
	プレミアム商品券での買い物に合わせ、年末の買い物でようやく人通りが増えてきた。お客様の中には来年もプレミアム商品券販売を望む声が多数上がってきている。1月から物価が上昇するとのニュースに、少しでもお客様の為になることができたらと思案中である。	下関市
サービス業	例年通り、年の瀬の忙しい時期になってきたが、最近では安売りのお店が横行し、こだわりのないお客様はそちらに流れるようで、特長のない店舗は苦戦している状況。努力しているかわからないかで少しずつ差が生じている。	美容業
	物価高騰は続き、寒さも厳しくなり、自粛傾向にある。	理容業
	山口県の令和6年11月の新車新規登録台数は、登録車3,258台で対前年同月比109%、軽自動車は2,214台で対前年同月比85.3%と全体で97.2%と前年を下回る状況になった。10月は半期の決算月であったが僅かながら回復傾向というところ。依然として登録車はまずまずの状況ながら軽自動車の回復が鈍い状況となっている。一部メーカーの新車生産が再開される一方、新モデルの発売スケジュール変更等が影響しているのか断定はできないが、年末販売の動向を見守りたい。「OBD検査」が開始され、	自動車整備業

	<p>これまで大きな混乱もなくまずまずの滑り出しの状況にあるが、検査対応の環境を整えるための検査機器購入補助金（国交省が実施）も3ヶ月で予算満了となり終了したが、2次募集を開始するとの情報もあり、検査機器等の供給不足等が発生しないよう体制づくりの維持が重要となるところである。全体として今後の売上が上昇することを期待したい。</p>	
	<p>対前年比大きな変化はなく、年度末にかけて会員数が減少。年明けから年度終わりにかけての会員数減少規模をできるだけを抑え、時期も後半に持っていけるように各社取り組みを行っている。</p>	スポーツ・健康教授業
	<p>12月の売上が昨年比で落ち込んでいる事業所が多い。物価高と販売価格の値上げが主な原因と考えられる。今後は、消費者への情報発信と新たな市場開拓で利益を残すことが不可欠である。</p>	普通洗濯業
	<p>忘年会を前月に済まされた会社等もあるが、年末の賑わいはあった。</p>	飲食業
	<p>売上は前年同月比 101.3%、宿泊実績は 96%となった。5月からの映画撮影等の連泊も無くなり、宿泊者が減少した。各種コストが高騰しているが、販売価格に全てを転嫁できず、値上げが間に合わないため、収益が改善しない。</p>	旅館業 山口市
	<p>感染症の落ち着きで入浴者に係る売上は 11%の増加となり、全期間では 4%増の見込みとなった。売店は縮小により売上高が前年同月で 30%となり、全期間で 30%の減額となった。原油高による加熱燃料費、電気代等の大幅な高騰により、営業損失は前年同等である。</p>	旅館業 長門市
	<p>順調に予約が入っており、稼働率も客室単価も上がってきている。しかし依然として清掃等は人手不足である。</p>	旅館業 下関市
建設業	<p>中電への工事申請 43 件(当支部 35 件)、前年同月 169 件(同 161 件)。太陽光発電への申請 5 件(前年 31 件)、オール電化申請 19 件(前年 102 件)。LED 街路灯への切り替え・新設申請 2 件(前年 20 件)であった。太陽光の価格引き上げから 10 月・11 月と前倒しの需要があり、12 月は激減となった。</p>	電気工事
	<p>引き続き来春 3 月頃迄、工事量の少ない状態が続く。技能者数が大幅に減少している中で、一部の技能者を休ませて補填するのは苦しい。工事量が少しでも増加すると応援の依頼をする必要があり、現場で工期の遅延が出始めている。</p>	左官工事業
	<p>まあまあの天候で、年度当初受注の官公需の進捗状況も、まずまずの模様。民間工事は少量であった。令和 7 年は、水道等の老朽化に対応する官公需発注に期待をしている。</p>	管工事業

	<p>組合員によって手持ち工事量に差が生じている。令和7年も小規模物件の案件が中心となりそうだが、中型物件の案件情報や見積件数が少し増加してきた感じがあるとの声も聞かれ、今後の仕事確保や工場稼働率アップに期待したい。適正価格の維持に向けて踏ん張りどころである。</p>	鉄骨・鉄筋工事業
	<p>組合で土木建築事務所との意見交換会を開催した。円滑な公共事業の推進に向けて、発注者・受注者の意思疎通を進めることができた。組合に加盟する事業者の、個々では発言しにくい事柄も、組合として取り組むことのメリットを確認することができたように思う。</p>	一般土木工事業 柳井市
	<p>12月の受注高は、対前年同月比 19.3%。今年度の受注高の累計では対前比 125.4%。</p>	一般土木工事業 萩市
	<p>第3四半期が終わり、長門地区の公共工事発注高は例年の8割と第3四半期も持ち直さなかった。第4四半期に期待する。</p>	一般土木工事業 長門市
運輸業	<p>何もかも悪い状況がずっと続き、12月は特に悪化した。再び燃料代も値上がりするらしく、どこまでこの状況がつづくのか何一つとして良い兆しが見えてこない。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>定常的に荷動きが発生しており、輸送・倉庫保管とも伸びが見られる。自社車両や自社倉庫だけでは不足し、庸車・外部倉庫の運用を検討している。人員不足が続いており、特にドライバーの雇用が急がれる状況である。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比+1.7%（令和6年11月1日～令和6年12月20日分 今期 31,664千円 前期 31,121千円）だった。11月1日～末日分は+4.2%（今期 18,219千円、前期 17,477千円）。12月1日～12月20日分は、▲1.5%（今期 13,444千円、前期 13,644千円）9月分以降前年割れが続いていたが、11月分は増加に転じた。12月は微減少であり、回復傾向にあるとは言えない状況。当組合の取扱いタクシー事業者は、周南市、光市、下松市、防府市の地域。11月分については、周南+1.7%、下松▲1.7%、光▲19.6%、防府市地区が+28.4%で、組合員の全域では+3.7%、地区外（員外）+9.6%、合計+4.2%（+742千円）だった。主要燃料であるLPGは、CP（通告価格）や為替によって変動する。燃料単価、12月分は前月よりさらに高騰し、前月よりも+2円/ℓ 前年より+3円/ℓ になった。費用的に安価だったLPG燃料だが、車両タンクの管理費増加もあり、ガソリン車に切り替わっていく傾向にある。需要量の減少もあり、ガソリンスタンド同様、自動車用LPガス給油所も営業時間の短縮や閉鎖廃業しつつある。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって、慢性的危機的に不足している。個人タクシーも後継者が出</p>	一般乗用旅客 自動車運送業

	<p>ないので減る一方で、高齢での廃業が進んでいる。11月分売上はやや増加し、年末の繁忙期の売上は何とか前年並みとなりそうだが、需要傾向は不安定であり、2025年の1、2月は、前年並みの売上確保が厳しいように思われる。</p>	
	<p>12月は各組合員とも、対前年比取扱高は減少となった。依然として続く人員不足の状況のまま年を越すことになる。また、ガソリンをはじめとする燃料費の値上げが、どの程度影響してくるのか注視する必要がある。</p>	港湾運送業
その他	<p>人材不足が慢性化している。最低賃金の引上げで人件費が上がり、食費等の高騰分を利用者から徴収したいところだが国の介護報酬により転嫁ができず、経営状況が悪化している。これからの事業経営が不安であるとの話しが多い。</p>	介護事業